

■食神・傷官は
食傷（しょくしょう）という。

■自分が相手を生じる相生の関係

- ・食傷は、比劫に生じられる
- ・食傷は、財星を生じる
- ・食傷は、官星を剋す
- ・食傷は、印星に剋される

傷官の干関係

10パターン

木	甲-丁	乙-丙
火	丙-己	丁-戊
土	戊-辛	己-庚
金	庚-癸	辛-壬
水	壬-乙	癸-甲

しょうかん

傷官

才気あふれるロマンチスト！

■キーワード

○長所
鋭い感性・鋭い観察力・緻密・雄弁・聡明・粘り強い・文才・敏感・ロマンチスト・きれい好き・知識欲・完璧主義・正論・カリスマ性

○短所
毒舌・過敏・一言多い・出過ぎる・不満・おせっかい・人を見下す・白黒つけなければ気が済まない・批判精神旺盛・潔癖・ヒステリック

○人物
食傷は女性にとっての子供

■特徴

- ・物事の白黒をはっきりつけたいと気分がわるい。
- ・しゃべることや書くことが得意で、描写が精密。
- ・聡明でカンが良いので、物覚えが良いが、できない人の気持ちがわからない。
- ・とにかく観察力が普通ではなく批判精神にも富むので、評論家などに多い。
- ・技術職に適性があり現実的だが、ロマンチストで霊感の強い人もいる。
- ・言動が鋭く、言葉を選ばないので、毒舌になる場合がある。
- ・相手の気持ちを汲む心の余裕がなく、正論を押し付ける。
- ・上司や先輩に反抗的態度をとり、組織やグループ活動は向かない。
- ・粘着質で物事を深く掘り下げ、自分勝手な人生観に囚われることもある。
- ・物事の細部にこだわりすぎたり、思いつめる癖があり、全体的にとらえられない。

■通変星の剋の関係を細かく見ると

- ・傷官は正官を剋す
- ・傷官は印綬に剋される

天干	地支	■月柱の天干と地支の通変星を組み合わせて判断	■命式に食傷がないと
傷官	比肩	頭の回転が速く行動力もあり、同じ失敗を繰り返さない知恵を持つ。	能力の出口がないので、才能がないように見え、イザという時、もてる力の半分も発揮できずに誤解されやすい。人生を楽しもうという気持ちもちにくく、ストレス解消が苦手だが、ちゃらんぼらん面がなく、責任感が強い。周りの状況などを良く考えてから行動することができる。
傷官	劫財	頭の回転が速くこれだと思ったことは無我夢中でやる。どれだけ才能を発揮できるかがカギ。	
傷官	食神	芸が細かく数字にも強い。縁の下の力持ちよりも、目立つことが大好き。	
傷官	傷官	観察力が鋭く、子供のころから特異な才能を発揮する人もいる。言葉を扱う分野で伸びる。	
傷官	偏財	自分の才能やアイデアを広めていく社交性があり、それを商売につなげることもできる。	
傷官	正財	話したり書いたり細かい作業が得意で事業欲も旺盛だが、真面目で冒険はしない。	■命式に食傷が多いと 才能発揮の能力が強いので、実力の有無にかかわらず、能力があるように見える。神経過敏で、イライラやヒステリックになりやすい。自己管理ができず、暴飲暴食になりやすい。異性問題を抱える場合もある。
傷官	偏官	細かいことにこだわりすぎるところはあるが、周囲を率いていくパワーがある。。	
傷官	正官	目上や組織に合わせようとする気持ちと、自分の主張を押し通したい気持ちの葛藤が常にある。	
傷官	偏印	鋭い観察力とユニークなアイデアを出すのが、気まぐれで継続することが苦手。	
傷官	印綬	聡明で知的処理能力は高いが、自尊心が強く人に頭を下げたり周囲に合わせるのが苦手。	

■傷官の成長段階		■配偶者との関係を見る・日柱地支に傷官があると
未成熟	未成熟な段階では、細かいことがいちいち気にかかり、重箱の隅をつつくように口うるさい。	世話焼きで、配偶者や家族のために一生懸命だが、お節介が過ぎたり、手や口を出しすぎて空回りしやすい。自分の考えを押し付けていないかどうか反省が必要。男女とも、理想家の人に惹かれやすい。
途中	成熟途中の段階では、目上に対して批判的だが、切れ味の鋭い観察力を持つ。	
成熟	成熟した段階では、緻密さを要求される技術を身につけ、才能を発揮し名を成す。	

■傷官の周期（社会） 焦燥期	■傷官の周期（恋愛・結婚）
生みの苦しみを味わうとき。環境から離脱し無理にでも自分を押し出すとき。自己主張が強くなるので周囲の風当たりも強くなるが、それでよい。精神的に辛い一年だがここで成長する。弁舌・毒舌・上に逆らう・神経過敏・言葉のトラブル・恥をかく。	ちょっとしたことで口論となる。これまで目をつぶることができた相手の欠点にガマンがなくなくなり、相手を傷つけ自分も傷つく。別れ。感情が不安定。女性の場合、夫の色相問題注意。正論だと思っていることも自己中心的な発想のことが多い。口の禍には特に注意が必要。

主一副	■傷官の古典的干関係		■最近の考え	
甲-丁	木火通命	モクカツウメイ	傷官を代表する金水傷官と並んで、二大頭脳星で、非常に切れ味の鋭い頭脳の持ち主。理数系よりも文科系に強いタイプが多い。	◎ 甲は丁を非常に良く生じる
乙-丙	三奇順遂	サンキジュンスイ	草花が太陽の恵みを燦々とい受けているが、乙が丙を生むことはできない。相手の援助を上手に引き出し、要領よく自分をアピールする能力がある。夏生まれで火が強すぎると草花は枯れてしまう。	◎ 反生、乙は丙を生じ、乙も乾くことによって強くなる
丙-己	大地普照	ダイチフショウ	太陽が大地を照らしている。人よりも優れた鋭敏な感覚を持つ。丙の細かさに傷官の細かさが加わるので傷官性の強い人物になる。	◎ 丙は己の湿土をほど良く乾かし良質にする
丁-戊	有火有炉	ユウカウロ	火が暖炉に調整されて程よく燃えている状態。お互いが助け合う形で、傷官の鋭さが多少和らぐ。人よりも優れた表現力があり、人気や名声を得る。	○ 丁は戊を生じることはできないが戊に守られる
戊-辛	朝陽格	チヨウヨウカク	山の岩石から宝石が掘り出される。戊の地支に水を含む場合（戊子）、良い宝石が生まれるといわれ、貴命となる。鋭い才能と細かさで、相手にかかわっていく能力。	× 戊は燥土なので辛を生じることはできない
己-庚	刑格	ケイカク	柔らかい土から金属が生まれる。己の愛情で一生懸命社会や組織に奉仕したが。感が鋭く感性も豊かだが、無駄も多い。	◎ 己は湿土なので庚をよく生じることができる
庚-癸	大格	ダイカク	庚の金属が癸の雨を生じることはできない。計算高く色々戦略を練る能力があるが、計画と実際の行動がうまくかみ合わず要領が良いとはいえない。庚は癸の雨を喜ばない。	○ 庚は癸を生じることができる
辛-壬	金水傷官	キンスイショウカン	辛の宝石を壬の川の水できれいに洗い流している状態。傷官を代表する干関係。特に理数系に強い人が多く、その鋭さと頭脳をいかにか活かせるかが課題。	◎ 反生、辛は壬を生じ、同時に自分も清められる
壬-乙	逐水桃花	チクスイトウカ	壬の川に気持ちよく乙の蓮の花が運ばれている状態。鋭い頭脳と豊かな表現力を存分に発揮できるように人前にどんどん出たほうがよい。	× 壬は乙を強くできず、浮かせてしまう
癸-甲	樹根露水	ジュコンロスイ	癸の雨が甲の大樹に降り注いで育てている状態。甲の社会性や思考力を育てることができるが、冬生まれは寒さが残り、温かさを必要とする。	◎ 癸は甲を非常に生じる